

## R6 五箇中学校校内研究にあたって③(計画)

研究主任

### 【R6 校内研究構想】

#### ① 現在の課題・研究主題の設定

・現在の五箇中の生徒の実態を踏まえ、学校全体で伸ばしたい生徒の力を明確にする

#### ② 授業改善プロジェクト(一人1テーマ) 授業を持たれている先生

・一人1テーマを決め、授業改善を行い、指導法などについて共有する。

#### ③ 集団づくりプロジェクト

・行事ごとの写真の掲示やお互いの頑張りを認め合う機会や方法を考え実践する。

### (1) 研究主題の決定

**自ら学び、高めあう、表現力豊かな生徒の育成**  
～「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善を通して～

### 【背景】

生徒の実態として、以下の強みと課題が挙げられる。

〈強み〉

- 目標に向かって一生懸命取り組む力と素直さ
- 話し合いなど協同的な活動が得意

〈課題〉

- 自らの考えを的確に、言葉豊かに表現する力と自信
- 自ら学んだり、動こうとする主体性



### 【研究仮説】

★見通しを持ったり、学びをつなげていくことができれば、生徒が主体的になるのではないかと

⇒課題設定、見通しを持つ手立て、振り返り

★自らの考えを持ち、他者と考えを深める活動を充実することができれば、表現力育成につながるのではないかと

⇒一人一人が考えを持つための工夫、グループワークの充実ややり方の吟味、全体で表現する場面の工夫、効果的なICTの活用法

⇒「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業改善と、

高めあう素地を養うための集団作り を研究で取り組む

令和6年5月27日

(2)授業改善プロジェクト:「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善と共有

【1年間の流れ】

- (1)自分の授業での課題点を踏まえ、改善に向け取り組んでいきたいテーマを決める。(5月)
- (2)個別のテーマに向けた取り組みを考え、授業内で実践する。(6~2月)
- (3)授業公開・協議を行い、テーマに向けた取り組みを共有する。(6~2月)  
⇒中間発表(2学期の研究職員会?)
- (4)実践共有の場をつくる。(3月)

【先生方のテーマ一覧】

永海先生	振り返りの効果的な活用方法
渡部先生	学びを生かす(確認する)課題について
伊勢先生	単元を貫く問いの設定について
若本先生	グループ学習の活用方法について
白川先生	できた!わかった!を生徒が実感できる授業づくり
松田先生	振り返りの持ち方
佐々木先生	主体的な学習に向けた課題設定とその評価
繁浪先生	ゴールを明確にした授業づくり

- \*月に1回程度の頻度で先生方の公開授業を設定する。(教務と相談し、1人1度はおこなう)  
⇒希望はまたとります。
- \*授業のねらい・テーマに沿った手立て等を書く授業シートを作成してもらいます。
- \*授業後、放課後や職員会の時間に協議を行い、効果的な指導法に向けて一般化を図る

(3)集団づくりプロジェクト:生徒が互いを認め合えるような仕組みづくり

- (1)行事の写真を掲示する。(高梨 T、野村さんで行事・写真を選定+印刷⇒ホールに掲示)
- (2)近況の写真を掲示する。(各学年部で写真を選定+印刷⇒職員室前に掲示)  
※月1回の更新を目安に(月末が良い?)
- (3)各行事で生徒たちの目標や目指す姿などを掲示する。(キャリアパスポートなどを活用)  
※各行事担当